

ミクローシュ・ペレーニ

—— ベートーヴェン・チェロソナタ全曲演奏会 ——

M i k l ó s P é r e n y



Photo: Andrea Felvégi

名匠ペレーニ、
待望のベートーヴェン

【第1日】2019年
2月14日(木)
19:00開演

<オール・ベートーヴェン・プログラム>
チェロ・ソナタ第1番 へ長調 Op.5-1
チェロ・ソナタ第4番 ハ長調 Op.102-1
モーツァルト《魔笛》より“可愛い娘が女房がいれば”の主題による12の変奏曲 へ長調 op.66
チェロ・ソナタ第3番 イ長調 Op.69

【第2日】2019年
2月15日(金)
19:00開演

<オール・ベートーヴェン・プログラム>
ヘンデル《マカベウスのユダ》より“見よ勇者は帰る”の主題による12の変奏曲 ト長調 WoO.45
チェロ・ソナタ第2番 ト短調 Op.5-2
モーツァルト《魔笛》より“恋を知るほどの殿方には”の主題による7つの変奏曲 変ホ長調 WoO.46
ホルン・ソナタ へ長調
チェロ・ソナタ第5番 二長調 Op.102-2

ピアノ:
イムレ・ローマン

一般発売:2018年9月8日(土)10:00

浜離宮朝日ホール

全席指定(税込):各7,000円 2公演セット券 13,000円 ※2公演セット券は朝日ホール・チケットセンターのみの扱い
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階 都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅A2出口すぐ TEL.03-5541-8710

お申し込み・
お問い合わせ

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00) 朝日ホール・チケットセンター 検索
■チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード126-748) <http://t.pia.jp/> ■イープラス <http://eplus.jp/asahihall/>
■ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター/10:00~20:00) <http://l-tike.com/> 0570-084-003 (Lコード34280:自動音声対応24時間)

※未就学児童の入場不可。託児サービスのお問い合わせ・お申し込み(要予約):イベント託児「マザーズ」0120-788-222
※やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目・出演者の変更に伴う払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。

主催:朝日新聞社

「一音も聞き逃せない」

チェリスト 長谷川陽子

孤高の高みを極めた世紀のチェリスト、マイクロシュ・ペレーニが来日する。ペレーニのチェロはいつも実直で質実剛健。何も足さず何も引かずどこまでもシンプルなのに、この上なく雄弁。いつも誠実で折り目正しい楷書書きの音楽作りに、聴く者は思わず背筋がすつと伸びて、襟を正したくなる。そして聴き終わった後には、心の靄やクスマがすつきりと晴れている。

そんな音楽の伝道師ペレーニの弾くバッハやベートーヴェンは、今現在の活躍するチェリストの中で、間違いなく最高のものだと私は確信している。ベートーヴェンのチェロ・ソナタ全5曲はそれぞれ味わいがあるが、特に後期になつてくると、人生とは、人間とは、と内面深くにメッセージを投げかけてくる。今年70歳を迎えるペレーニがチェロで何を語るか、一音たりとも聞き逃さない。

ペレーニの音楽は、いつも訥々と客席に語り掛けてくる。いや、もしかしたら彼は、客席に語り掛けているのではなく、《音楽の神様》とおしゃべりしているのかもしれない。その場に立ち会える幸せは、間違いなくじんわりと余韻の長い幸せを私たちにもたらしてくれるだろう。

マイクロシュ・ペレーニ (チェロ) Miklós PÉRENY (Cello)

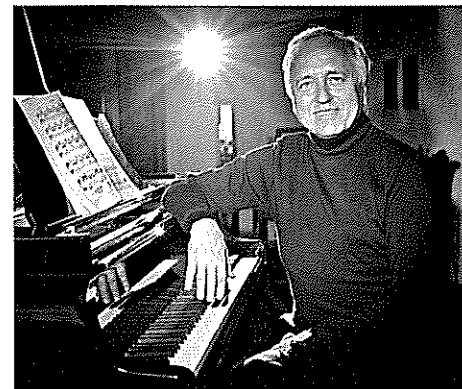
1948年ブダペスト生まれ。音楽一家で幼少からその才能を育み、5歳でダーヴィト・ポッパーの弟子マイクロシュ・ジャムボキに師事。7歳でリスト音楽院に入学、エデ・バンダに師事し、9歳で初のコンサートを行なう。1960年から64年にかけてローマ聖チェチリア音楽院に進み、エンリーコ・マイナルディのもとで研鑽を積む。1963年ブダペストで開催されたパブロ・カザルス国際チェロコンクール入賞後、カザルス自身の招きにより、プエルトリコをはじめとする各地のマスタークラス、また夏のマールポロ音楽祭へたびたび参加し、巨匠の薫陶を受ける。1974年よりリスト音楽院で教鞭を執り、1980年より教授職(現職)。多数の録音作品があり、いずれも高い評価を得ている。アンドラーシュ・シフ(ピアノ)と録音したベートーヴェンのソナタ全曲集(2004年、ECM Records)は2005年カンヌ・クラシック・アワードを受賞。最新CDはバッハ、ブリテン、リゲティの楽曲を集めた《チェロのための無伴奏作品集》(2012年、ECM Records)。1978年に初来日を果たして以来たびたび招かれ、浜離宮朝日ホールでは2014年3月、2015年12月に続き今回で3度目の2日間のプログラムによる公演となる。



Photo: Andrea Felvégi

イムレ・ローマン (ピアノ) Imre ROHMANN (Piano)

1953年ブダペスト生まれ。4歳でピアノをはじめ、1967年よりバルトク音楽高校にてピアノと作曲を学んだ後、1971-76年リスト・フェレンツ音楽大学にてピアノと室内楽の研鑽を積んだ。1973年ハンガリーラジオ放送ピアノ・コンクール特別賞、1976年リスト=バルトクピアノコンクール第3位、1980年レオ・ヴェイネル国際室内楽コンクール(アメリカ、ブルーミントン)第1位ほか数々のコンクールで受賞している。1969年モーツァルトの協奏曲第26番《戴冠式》のソリストとしてベルリン・フィルハーモニーホールに登場後、ソリスト、室内楽奏者としてヨーロッパ、アメリカ、カナダを中心に継続してコンサート・ツアーを行った。1978年東京文化会館にて日本デビュー以来、毎年来日している。ゾルターン・コチシュ、ペーテル・エトヴェシュとのイゴール・ストラヴィンスキー《結婚》の録音は1990年のレコード賞を受賞し、2012年にはフランツ・リストの未完成のピアノ協奏曲《深き淵より》はリスト協会より



リグランプリを受賞した。1978-85年リスト・フェレンツ音楽大学、その後ベルリン芸術大学で教鞭を執った後、1990年よりザルツブルク・モーツァルトウム音楽大学教授(ピアノと室内楽)。スペインのアルカラ大学、日本の桐朋学園大学、昭和音楽大学、名古屋音楽大学でも後進の指導にあたっている。